

様似町港町海岸におけるハブスオウギハクジラ(希少種)の漂着について

ストランディングネットワーク北海道

2018年8月29日に様似町に漂着したハブスオウギハクジラは、世界的にも大変めずらしく、日本哺乳類学会も「希少種」と位置づけています。今回の漂着は、日本で22例目、北海道で9例目になります。

■鯨種について

クジラ目ハクジラ亜目アカボウクジラ科オウギハクジラ属に属し、学名は *Mesoplodon carlhubbsi* 標準的成熟雄個体は、噴気孔の前部にはっきりと白い部分があります。クチバシの先端部には白色。歯は大きくて、扁平で幅広く、顎の先端から口角までのほぼ半分のところにある隆起部に萌出します。喉の部分の溝は長く。体表には引っかき傷が多く見られます。外洋性。数頭の群をつくるとされています。

世界では今死亡個体報告例のほとんどは北米大陸太平洋側のカリフォルニアからブリティッシュコロンビアにかけてのものであり、多くは流し網による混獲でした。流し網が禁止になった後は発見例がほとんどありません。

IUCN(国際自然保護連合)は、本種を「情報不足種」(絶滅危惧種などと判断できるだけの情報が得られていない)と設定しています。

■漂着記録

今回の漂着は、日本で22例目、北海道で9例目になります。

日本では、静岡、神奈川、東京、茨城、宮城、岩手、青森と北海道で発見例があり、全てが太平洋側です。

北海道での報告は以下の通りです。

- 2004.12.12 幌泉郡えりも町
- 2008.06.19 日高郡新ひだか町 SNH08031 473cm F
- 2009.08.09 根室市 SNH09023 510cm F
- 2011.05.29 二海郡八雲町 SNH11016 510cm M
- 2015.04.14 様似郡様似町平宇 SNH15011 493cm M
- 2016.01.14 函館市安浦町 SNH16003 436.4cm M
- 2017.06.30 日高郡新ひだか町 SNH17030 278cm F
- 2017.08.02 日高郡新ひだか町 SNH17037 248cm F
- 2018.08.29 様似郡様似町港町 SNH18033 (正確な体長は30日の調査で測定) F

■発見と鯨種判定の経緯

発見の経緯は以下の通りです。8月29日朝、漁業者より鯨類の漂着に関して様似町役場に通報がありました。様似町役場が現地確認に向かうとともに、日高振興局に連絡、10:05日高振興局よりストランディングネットワーク北海道(SNH)に連絡がありました。様似町役場が現地確認のうえ、10:23写真をSNHに送付。体型、特に頭部形状(通常のオウギハクジラより前頭部の出っ張りが顕著)および体色(吻先が白い)等から、ハブスオウギハクジラ(メス)と判定しました。

■調査について

8月30日06:00より、様似町による処分の過程で、漂着現場近くで、SNHが調査を行います。参加研究機関は北海道大学、帯広畜産大学、北海道博物館の研究者が調査を行い、標本は、これらの機関の他、日本全国の研究機関に配分して分析していただきます。

調査項目は

- ・外部形態写真撮影
- ・外部形態測定
- ・解剖(臓器摘出、標本採材、骨格採集)

わかる可能性のあることは

- ・生態(成熟、年齢等)
- ・死因(病変、外傷等)
- ・食性(胃内容物調査、安定同位体分析等)
- ・環境汚染物質 など

これらの研究を通じて、希少鯨類の保全や鯨類と漁業の共存に寄与していきたいと考えております。

なお、ストランディングネットワーク北海道では、道内の鯨類(イルカを含む)の漂着情報を集めております。腐敗しているものでも、学術研究に使える場合が少なくありません。<http://kujira110.com/> に詳しく記載しております。ご協力をよろしくお願い致します。